

# STRENGTHENING THE INTERNATIONAL TIRE SUPPLY SYSTEM

BRICsなど新興国を中心に、世界のタイヤ市場は堅調に拡大を続けていくものと見込まれます。この成長機会を確実にとらえるため、当社はグローバル供給体制の強化を図っています。

## ブラジル新工場の建設に着工

中南米地域における当社グループ初のタイヤ工場をブラジルに設立し、2012年1月に起工式を行いました。現在ブラジルを中心とした中南米地域では、堅調に成長を続ける経済のもと、自動車産業が急速に拡大しており、自動車用タイヤの需要も増加しています。今回のブラジル工場の稼働により供給体制を強化し、この地域におけるタイヤ事業の一層の拡大に取り組んでまいります。生産開始は2013年10月を予定

# 70,000本/日

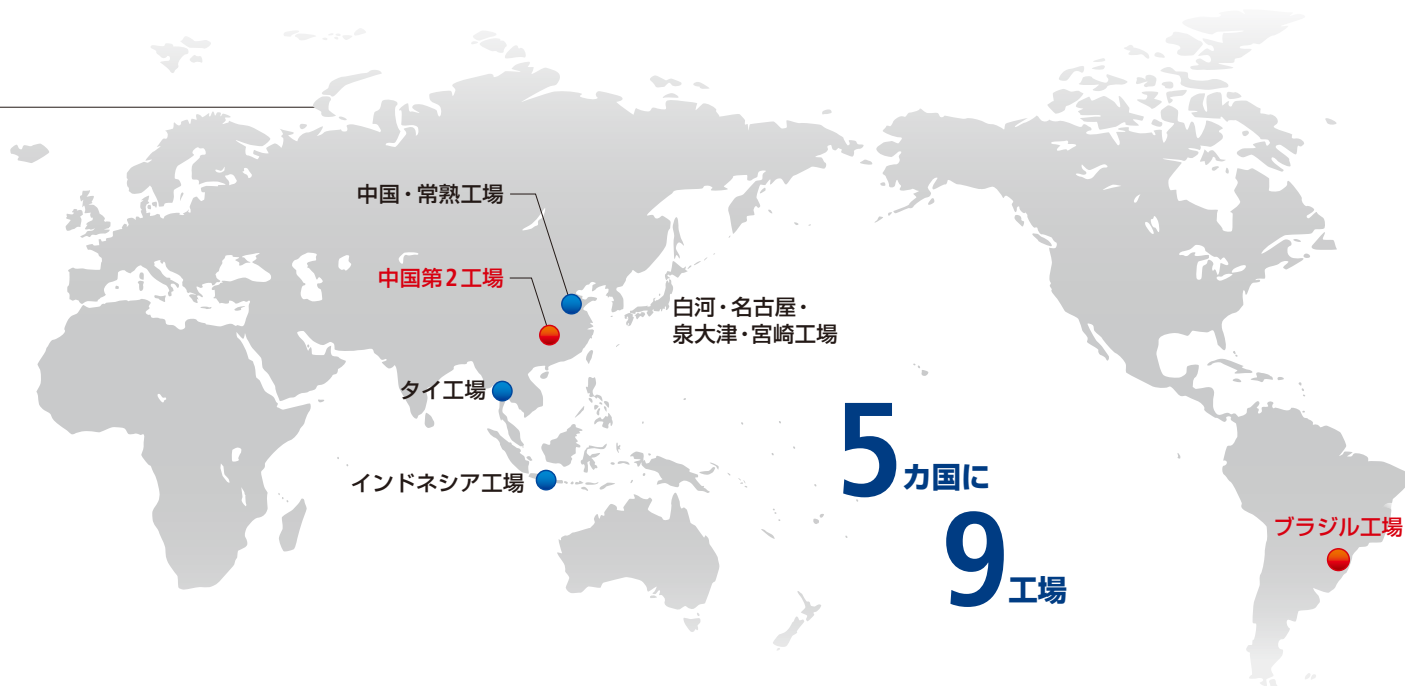
## 2012年末のタイ工場の生産能力(計画)

タイ工場は、タイの首都バンコクの中心地から南へ150kmのラヨン県アマタシティ工業団地内にあります。2006年11月の操業開始以来、継続的に生産能力の増強を図っており、2012年末には日産約70,000本を達成する見込みです。



### ブラジル工場の概要

会社名	Sumitomo Rubber do Brasil Ltda.
所在地	パラナ州ファゼンダ・リオ・グランデ市
設立	2011年7月
生産開始	2013年10月
総投資額	約5億6千万リアル(約280億円)*
生産能力	2,200トン/月(15,000本/日)(2016年末)*
*第1期工事分	1リアル=50円にて換算



しており、2016年末には日産15,000本の乗用車ラジアルタイヤの生産を計画しています。

### 中国およびタイ工場の生産を増強

中国では自動車保有台数が1億台を突破するなど、自動車産業が堅調に拡大しています。この成長市場をとらえるため、当社は中国で2カ所目となるタイヤ工場の建設を湖南省で進めています。2012年3月には試作を開始するなど、7月の操業開始に向けて工事は順調に進捗しています。

また、当社のタイヤ事業のグローバル展開における重要な輸出拠点であるタイ工場については、2010年末には日産40,000本を達成し、2012年末には日産約70,000本の達成を計画しています。その後も急速

に能力拡大を図り、2014年末には日産90,000本という世界最大級のタイヤ工場へと拡張する計画です。グローバル供給体制のさらなる強化を図るべく、当初の拡張計画を前倒して進めていく考えです。

### 新工法「太陽」により投資効率を向上

当社独自のタイヤ新工法「太陽」は、生産工程の全自動化と設備の小型化を実現し、タイヤの精度・性能の向上にも寄与します。また、需要に応じたフレキシブルな増産対応が日産1,000本単位で可能であり、投資効率が非常に高い工法です。1996年のプロトタイプ完成から現在まで「太陽」の導入と進化を進めてまいりましたが、現在、「太陽」をさらに進化させた「次世代新工法」の開発に取り組んでおります。当社のものでづくりの総力を結集し、2012年中の完成を目指します。

#### 中国第2工場の概要



会社名	住友橡膠(湖南)有限公司
所在地	湖南省長沙市
設立	2010年9月
生産開始	2012年7月
総投資額	約297百万米ドル
生産能力	30,000本/日 第1期: 2014年末で15,000本/日 第2期: 2017年末で30,000本/日

30%



従来工法の設備面積に対する太陽工法の設備面積の割合